

平成28年6月9日

報道関係各位

一般社団法人 日本オーディオ協会

「平成28年通常総会 終了御礼と会長挨拶 要旨」

梅雨空の候、一時の晴れ間、貴社におかれましては、益々御隆昌にてお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。一般社団法人日本オーディオ協会は、6月8日（水）銀座ブロッサムにて「平成28年度定期総会」を無事終えることが出来ましたことへの御礼と、会長挨拶要旨を含めここにご報告をさせていただきます。

<会長挨拶>

総会開催に当たり一言御挨拶を申し上げます。先ずは、熊本地震において亡くなられた方々及び被災された方々に衷心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。日本オーディオ協会は、去る4月27日に東京国際フォーラムにて今期の事業方針概要を発表させていただきました。これは、展示会の在り方などを含め、事業内容を抜本的に見直す必要に迫られ、理事会承認の上、一刻も早い公開が重要との認識で行ったものです。その後、理事会検討の上、変更点を盛り込み本日の総会に臨むものです。国内経済状況は「伊勢志摩サミット」開催等政府の懸命な努力があるものの厳しい状況と言わざるを得ません。日本オーディオ協会は、昨年来慎重に市場動向等を把握・分析してきましたが国内オーディオ市場は厳しい状況であると認識しました。本総会が日本オーディオ協会は勿論のこと、国内オーディオ市場にとって、大きな転換点になる可能性があるかと認識しています。そのポイントとして

第一は、いよいよ「メディアチェンジ」の波が押し寄せつつあるということです。

我国は世界一のCD王国となっていますが、一方でそれだけ世界の情報伝達や情報処理技術に後れを取っているともいえます。具体的にはパッケージからノンパッケージへの波であり、CDから配信・ストリーミングへの時代が到来しつつあるということです。勿論、足元を見れば昨年は、レコードが若者に受け入れられた事実もありますが、試聴スタイルの多様化と、若者にとっては全くの新しいメディアと捉えた方が良いと考えます。

第二は、我国人口の減少影響が市場で顕在化することです。平成27年比で平成37年には日本の人口は約800万人の減少が予測されています。団塊世代が既に一線を退き、且つ消費市場の主役からも降りようとしています。これまでの国内のビジネスモデルはこれらの大変化を十二分に組み込んでいる様には見えません。特にオーディオ業界は備えが不十分と言えます。日本オーディオ協会はこれらに応えるために、自ら市場創造に打って出る決意と新たな事業計画を発表しました。皆様方の深い理解とご支援をお願いしまして総会開催の御挨拶させていただきます。

(添付資料：日本オーディオ協会 事業計画概要5枚)

* この件に関するお問合せ先 *

一般社団法人 日本オーディオ協会 事務局：村松

東京都港区高輪3-4-13 レフォルマ高輪4F

TEL:03-3448-1206 FAX:03-3448-1207 E-mail: jas@jas-audio.or.jp